

＜会津若松市・京都市相互交流事業について＞

■概 要

会津若松市及び京都市は、ともにゆかりの深い「新島八重」を主人公とした、平成25年NHK大河ドラマ「八重の桜」の放送を契機として、東日本大震災からの復興と両市の友好発展を目指し、観光分野を中心とした交流を進めていくこととしました。

平成24年3月19日（月）、20日（火・祝）に会津若松市長と会津若松市風評対策キャラバン隊が京都市を訪問し、「会津若松市・京都市相互交流宣言」を行い、交流事業の第一弾として、京都市内で観光誘客活動を実施します。

1 平成24年3月19日、20日の交流事業

【会津若松市・京都市相互交流宣言】

平成25年のNHK大河ドラマとして、同志社大学の創設者新島襄を支えたその妻・新島八重を描いた「八重の桜」の放送が決定された。この両市の「ゆかり」を契機として、東日本大震災による観光への風評被害の克服及び復興、そして両市の友好発展を目指し、観光分野を中心とした相互協力・交流を実施することを宣言する。

【観光誘客活動の内容】

交流事業の第一弾として、京都市内で開催されるイベントにおいて、会津若松市風評対策キャラバン隊が参加し、会津若松市の特産品展示即売会や観光PR活動等を行う。

2 以後の交流事業の案

【観光分野】

- ・大河ドラマ「八重の桜」をゆかりとする共同PR
大河ドラマ「八重の桜」における両市の関わりをもとにした、首都圏での共同PR
- ・京の夏の旅、京の冬の旅キャンペーンでのPR
大河ドラマを契機として京の夏の旅・冬の旅キャンペーンにおける、京都市内の会津若松ゆかりの地の旅行企画への組み入れ
- ・市民相互訪問事業

【教育分野】

- ・希望校による学校間交流
両市の学校から連携希望校を募り、双方の地域に関わる歴史・伝統・文化などについて調べ、ビデオレターやインターネット回線などを利用した交流